



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ●副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ●会報委員長 小林 浩太郎

第2983回例会 (令和7年5月12日)



ホームページQR

[ゲストのご紹介]

◆第2760地区 愛知友愛ロータリークラブ

会長 天野 元成 様 次年度副幹事 牧ヶ野 孝宏 様



皆出席 3名

- 布施修一郎さん(32年)
- 林 秀樹さん(24年)
- 窪田 秀徳さん(14年)



[表彰贈呈行事]

米山奨学金授与
金 セハさん



[新入会員セレモニー]

◆(有)東郷堂 代表取締役社長

鈴木 芳朋さん

◆推薦者 島田 甲子雄さん

小幡 晃大さん



[慶祝行事]

お誕生月 2名

- 比田井美恵さん
- 布施修一郎さん



結婚記念月 5名

- 桑原 茂実さん
- 三井 英和さん
- 小山 宏幸さん
- 大日方新治さん
- 林 秀樹さん



事業創立記念月 6名

- 桑澤 俊恵さん
- 横沢 泰男さん
- 滋野 眞さん
- 佐藤 倫さん
- 土屋 陽一さん
- 上原 文明さん



[会長挨拶]

金子 良夫 会長



本日は、愛知友愛クラブから天野元成会長、次年度副幹事の牧ヶ野孝宏さんがビジターとしておいでくださいました。ようこそいらっしゃいました。

愛知からせっかくおいでくださいましたので、本日は当クラブのルーツは愛知にありということ、愛知県と長野県はかつて同位置の地区だったというお話をしたいと思います。

1987年、RI 260地区が分割され、愛知が2760地区、長野県が2600地区となりました。ですから、もし分割されないままでしたら、愛知友愛クラブは同じ地区だったというわけです。1986年、第260地区の地区大会は、上田クラブをホストクラブとして上田の地で開催されました。先日、会友丸山正一さんの奥様のご葬儀があり、その席で「49年も在籍された丸山さんみたいな大先輩に伺いたいことがたくさんあり、昔のことを振り返るときに、丸山さんのご経験が大変貴重です」とお話をしました。実際、本当にそうで第260地区最後の信州での大会を知るお方も少なくなっていました。

さて、1924年7月、日本での4番目のクラブとして名古屋クラブが設立されました。その後、名古屋クラブを

スポンサークラブとして1956年4月松本クラブが創立され、松本クラブをスポンサーとして、1957年6月諏訪クラブが発足され、1959年11月12日上田クラブが長野県で4番目のクラブとしてチャーターメンバー29名で発足されました。松本クラブの親クラブは、名古屋クラブですので、上田クラブは名古屋クラブの孫クラブというわけです。飯田クラブは、別系統で、豊橋クラブをスポンサークラブとして、1956年6月発足しています。ですから2600地区では、設立順は、松本、飯田、諏訪、上田の順番になります。因みに、上田クラブの子クラブは、長野、戸倉上山田、丸子、小諸、上田東、上田西クラブです。

以上のように、第2600地区のルーツは愛知県にあり、その愛知県・2760地区から愛知友愛クラブのメンバーがビジターとして当クラブ例会お越しくださったことは誠に喜ばしく、心から歓迎するところです。本日は、愛知から友愛クラブの皆様がお越しくださったことを機に、当クラブのルーツをお話しました。

[メインプログラム]

上田ロータリー米山奨学生 金セハさん

こんにちは、米山奨学生の金セハです。本日は卓話ということで、まず一年の振り返りとして経過報告、次に研究室についてお話した後、複数の方々からリクエストをいただいた兵役についてお話しできたらなと思っています。



まずは経過報告です。私は昨年の4月から一年間、信州大学繊維学部機械・ロボット学科3年生として勉強を続けてまいりました。この一年間で履修した授業の単位を全て取得することができました。それによって、4年次になる際の進級関門の条件を満たし、無事4年次に進級することができました。信州大学繊維学部機械・ロボット学科は4年次から研究室に配属されるので、研究室にも配属されることとなりました。

それでは配属された研究室についてお話ししたいと思います。私の学科、機械・ロボット学科には2つのコースがあり、私が所属するバイオエンジニアリングコースには10個の研究室があります。それら研究室の中で、主に脊椎^{せきつい}についての研究をされている小関先生の研究室に配属されることになりました。現在、小関研究室では、大きく3つのテーマに対して研究を進めています。

まず、一つ目は、「特発性側弯症^{そくわんしょう}の発生機序^{きじょ}の力学的説明」です。脊椎が変形する側弯症は、先天性のものや疾患に伴うものもありますが、その多くは「特発性」と呼ばれ、その変形の原因が明らかではありません。しかもその側弯した脊椎の形態は、6種類に分類されているほど多様であり患者ごとに異なります。しかし、このうち

いくつかは力学的な非対称性により説明できると仮説を立てています。本研究テーマでは、脊椎の成長シミュレーションを実施して、そこに成長の非対称性を加えることで様々な分類される側弯症の脊椎形状の再現を試みています。

2つ目は「機械学習を用いた二次元レントゲン画像に基づく脊椎アライメントパラメータの抽出」です。脊椎の疾患に対しては、脊椎アライメント(姿勢)のパラメータ(角度や距離)をX線透過画像で計測して診断することが一般的です。しかし、医師の経験や技術によってそのパラメータが変化してしまうという問題があります。そこで本研究では、機械学習による画像認識技術を用いてX線画像から椎骨を抽出し、診断に用いるパラメータを自動的に求める技術の確立を目指しています。さらには、背面からの画像と側面からの画像を組み合わせることにより、三次元解析モデルの構築も試みています。

3つ目の研究テーマは、「脊椎手術インプラントのバックアウトや折損^{せつそん}に関する力学解析」です。金属ロッドをスクリューによって椎骨に固定する脊椎手術では、術後にスクリューが抜けてくるバックアウトや、金属ロッドが折れてしまう折損を起こしてしまうことがあります。これは、患者の骨の状態、手術計画、術後の患者の姿勢変化の大きさ、などが大きく影響していると考えられ、術後も安全に生活できるような手術が期待されます。そこで本研究では、患者の脊椎とインプラントの力学状態を計算し、バックアウトや折損の危険性評価とより安全な手術計画手法の確立を目指しています。中々この説明だけだとわかりづらい部分もあると思いますが、またこの研究についてお話しできる機会があればその時により詳しいお話しをさせていただきたいと思います。

それでは、リクエストをいただいていた兵役についてお話ししたいと思います。本当は写真などをたくさんお見せしながらお話しできるといいのですが、一般公開されている写真が多くないので、どうしても口頭での説明が多くなってしまいますが、ご了承いただけますと幸いです。前回の卓話でも兵役について軽くお話ししましたが、まず、現在の兵役の期間は1年と6ヶ月です。私の父親が兵役に行っていた頃は、今の2倍となる3年だったそうです。だんだんと期間が短くなっていて、これ以上短くすると引き継ぎなどの面で問題が生じるなどにより、兵役義務化の撤廃案について議論されていたりします。私の所属は、陸、空、海の中で陸軍に所属していて、職種は大型運転兵でした。現在は、兵役を終えて、予備軍に所属していて、予備軍は兵役を終えてから6年間適応されます。この間は、年に2度ほど2泊3日の泊まり込みで訓練が行われます。この訓練は、銃の扱いや各職種の技術力の低下を防ぐために行われています。私の場合は、現在日本で大学に通っているため、大学に

通っている間は免除されるそうです。入隊方式には2つの種類がありまして、徴集兵と志願兵があります。徴集兵とは、入隊日や職種などを自分で決めることができませんが、入隊申請を行えば最短で入隊の手続きを行うことができます。それに対して、志願兵は、自分で入隊したい月や職種などを選ぶことができますが、職種によって必要な資格や能力を必要とされ、人気のある職種などは書類審査によって採点の高い順に採用されます。

次に、兵役の全体の流れについてお話ししたいと思います。まず、軍隊に入隊すると、全ての人が訓練所に行くことになります。入隊するときには、6mm以下の丸刈りで入隊することが義務付けられていて、ここで初めて坊主を経験する人は少なくありません。私もその一人でした。先ほどのスライドでお話した、徴集兵に関しては、この訓練所にて、各自が保有する資格や能力に基づいて職種が割り振られます。訓練所では、あいさつの仕方、言葉の使い方を始め、歩行作法や銃の扱い方など様々な基礎を学びます。韓国では、日本での丁寧語にあたる言葉遣いを日常生活で使用していますが、軍の中では尊敬語や謙譲語のような軍隊でしかほとんど使わない言葉遣いがあります。そのため、軍人が休暇などで日常生活に戻ってきても、言葉遣いなどですぐに軍人だと見抜かれてしまうことが多いです。訓練所を終えると、職種によって後期訓練を必要とするものがあります。訓練期間は職種によって様々で、大型運転兵は5週間の運転教育を受けてから部隊配属をされました。ついに部隊配属がされることで、本格的に軍隊での生活がスタートします。18ヶ月の兵役期間がある中で、進級を問題なくすることができれば、二等兵が3ヶ月、一等兵が6ヶ月、上等兵が6ヶ月、兵長が3ヶ月で過ごすことになります。上等兵と兵長に進級する際に進級条件があるのですが、その進級条件を満たすことができないと、兵長の期間が1ヶ月分減り、進級出来なかった時のランクでもう1ヶ月過ごすことになります。

次に平日の1日のスケジュールについてお話ししたいと思います。これは私がいた部隊のスケジュールなので、部隊によって少しずつ違うところはあると思いますが、まず、6時半に起床の放送が流れ、寝具をきれいにまとめた後、着替えてから朝礼をしにグラウンドに向かいます。7時から朝礼が行われ、点呼や国歌斉唱、体操などを行なった後、7時半ごろから朝食を食べ始めます。8時15分に各中隊に分かれて仕事の割り振りや確認が行われ、8時30分から午前の仕事が始まります。私は運転兵だったので、毎日のように車庫に向かい、車の整備や修理を行っていました。一人で車を修理できるようにならないと、戦時車が故障した時に、車を修理できずその場で佇むことしかできなくなってしまいます。そのため、私がいた部隊では、まず一人で一通りの車の

修理ができるようになってから、実際に車の運行を任されるようになっていました。11時半を過ぎた頃には午前の仕事を切り上げて昼食に向かいます。昼食を食べ終えたら、13時までお昼休憩があり、13時30分から、午後の仕事が始まっていました。

午後の仕事が15時半ごろには終了となり、16時から体力づくりが始まります。この時間では、3km走、腕立て伏せ、上体起こしを中心に行われます。前のスライドで少しお話ししましたが、上等兵と兵長に進級するには進級関門があり、その関門として3km走、腕立て伏せ、上体起こしが含まれています。3km走は14分30秒以内、腕立て伏せが1分で56回以上、上体起こしが1分で70回以上となっています。17時からついに個人整備時間が開始となります。個人整備時間では、お風呂、歯磨き、勉強、連絡など自由な時間を過ごすことができます。21時前には個人整備時間が終了となり、21時から掃除を行います。15分間掃除を行なったら、21時半から行われる夜の点呼に備えます。22時に就寝となり、ここで1日が終了するのですが、夜間任務があるので、3日に1度は夜中に起きて夜間勤務に就くことになります。忙しい時期には毎日夜間勤務に就くこともあります。

最後に私が兵役中に経験した特殊な体験についてお話ししたいと思います。私は2021年の8月に入隊をしたので、その頃はまだコロナ禍の真っ只中でした。訓練所に入所した時も、まず最初にコロナ検査を受け、2週間の間ご飯を食べて部屋に座り続けるという生活を経て最後にもう一度コロナ検査を受け、入所3週目になってようやく訓練が始まるような状況でした。私が部隊配属をされてまもなくした頃に部隊の中でコロナウイルスが伝染して、中隊約50名全ての兵士が感染者もしくは濃厚接触者となり隔離され、新しく配属されてきた新兵が一人で朝の仕事の割り振りに参加するようなこともありました。そのような中、私が上等兵に進級した頃に、幹部の方から仁川空港で外国語を話せる兵士の派遣募集があることを聞き申請したところ、採用され、2ヶ月間の派遣に行くことになりました。空港では、コロナ禍により入国審査前にコロナウイルスの検疫場が設置され、そこで入国者に対してコロナウイルス陰性を証明する書類を提出してもらうことになるのですが、毎日様々な国から多くの外国人の方々が入国をされるので、仁川空港の方々だけでは人手が足りず、軍に支援を要請することになり、陸軍から外国語を複数話すことの出来る兵士を選抜し、派遣することになりました。なので、任務内容としては、入国者に対して、コロナウイルス陰性を証明する書類を受け取り確認を行うことと、入国時に症状がないのかを確認するというをしていました。1日8時間勤務の3交代制で、空港近くのホテルで

寝泊まりをし、ご飯は各自で空港で食べたりホテルで出前を頼んだりしていました。なので、部隊のみんなにはとても羨ましがられていました。さらに勤務中には、多くの有名人に出会う機会があり、私は勤務中にBrad Pittやソン・フンミンを含めたトットナムのメンバーに会うことができました。また、直接会うことは出来なかったのですがBlack Pinkのメンバーがちょうど勤務中に反対側の出口に来たと噂になっていました。

派遣の他にも、訓練や出動隊についてもみなさん気になると思うのですが、機密漏洩で私が捕まってしまうので、本日はここまででさせていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

【幹事報告】

酒巻 弘 幹事

1. 地区事務所

大船渡大規模山林火災

支援金に対する御礼

2026-27年度派遣青少年交換

長期派遣学生募集のご案内

青少年奉仕月間 リソースのご案内

「クラブサポートミーティングオリエンテーション」並びに

「第1回クラブサポートミーティング」開催のご案内

「第12回全国インターアクト研究会長野会議」のお礼

2025-2026年度RLI参加のお願い



2. 上田西RC

上田市より「平和の灯モニュメントの設置」について

3. 長野銀行 上田支店 支店長後任のご挨拶

4. 上田防衛協会

「自衛隊ふれあいコンサートin上田」チラシ送付について

5. 東信ジャーナル

上田RCが職業奉仕表彰 山家神社の押森さん

6. 会報恵送 東近江RC

【ニコニコBOX】

田中 克明 委員長

天野元成さん(愛知友愛RC)

牧ヶ野孝宏さん(愛知友愛RC)

飯島幸宏さん 石井懋人さん 出田

行徳さん 伊藤典夫さん 上原文明

さん 内河利夫さん 小幡晃大さん 金子良夫さん 窪田

秀徳さん 桑澤俊恵さん 桑原茂実さん 小林浩太郎さん

小林秀茂さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 斉藤達也さん

酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野真さん 島田甲子雄さん

関啓治さん 関勇治さん 田中克明さん 田邊利江子さん

土屋勝浩さん 成澤厚さん 林秀樹さん 布施修一郎さん

保科茂久さん 三井英和さん 宮川泰さん 矢島康夫さん

柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん 横沢泰男さん

本日喜投額 37名 ￥ 86,000

累計 ￥1,676,000



【例会の記録】

司会：保科 茂久 会場・出席委員長

斉唱：国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」

●ゲスト紹介

第2760地区 愛知友愛ロータリークラブ

会長 天野 元成 様 次年度副幹事 牧ヶ野 孝宏 様

●入会セレモニー

(有)東郷堂 代表取締役社長 鈴木 芳朋さん

推薦者 島田 甲子雄さん 小幡 晃大さん

●慶祝 ●米山奨学金授与 金 セハ さん ●会長挨拶

●幹事報告 ●メインプログラム 金 セハ さん

【ラッキー賞】

関 勇治さん(滋野 真さんより 雪中梅)

内河利夫さん(金子良夫会長より 東京ばなな)

土屋勝浩さん(金子良夫会長より

埼玉のお土産 十万石まんじゅう)

林 秀樹さん(島田甲子雄さんより

横浜ハーバー ダブルロマン)

宮川 泰さん(出田行徳さんより

那須ブランド御用邸の月)



【出席報告】

斉藤 達也 副委員長



	本日	前々回 (4/21)
会 員 数	53	52
出席ベース	51	50
出席者数	39 コロナ欠席0	41
出席免除(b) ()内は出席者数	4(2)	4(2)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内はMake up 後		1(42) コロナ欠席0
出席率	76.47	84.00

【次回例会予定】

5月26日(月) 会員卓話 上原 文明さん

(5月19日発行)

【会報担当】 小林 浩太郎 会報委員長